



Fit to Standard 適応力診断サービス

組織の変革適応力を可視化し
最適なERP導入アプローチを提示

本サービスは 株式会社エル・ティー・エスと
株式会社システムインテグレータが協働で提供します

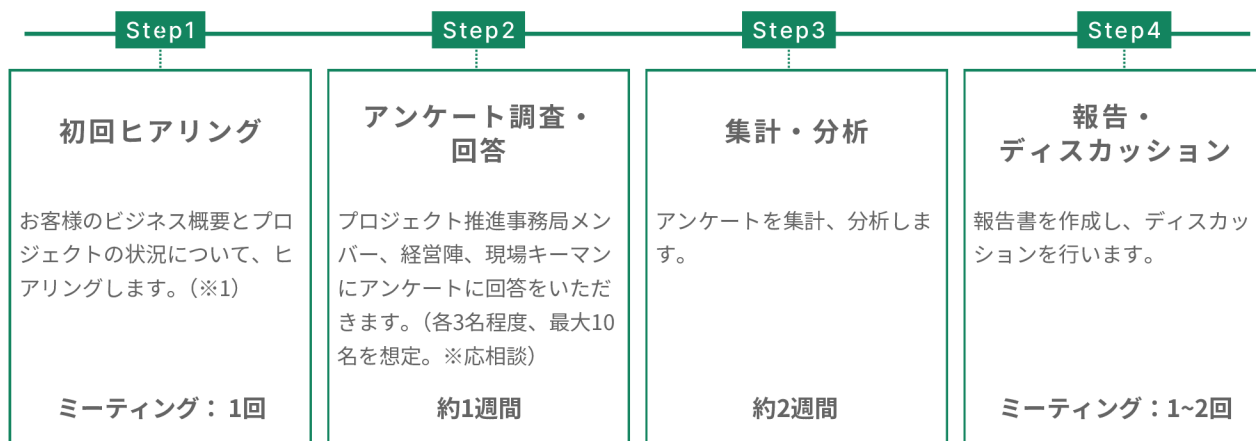
Fit to Standardに必須の「変革適応力」を専門家が診断

「Fit to Standard」で基幹システムの刷新プロジェクトを推進するには、「組織の変革適応力」と「ステークホルダー間での考え方の合意・一致」が重要な要素です。

自社では客観的に測れない最適なプロジェクト導入手法を、企業変革・ERP導入・システム開発の専門家が診断し、おすすめの手法を提案します。

診断の進め方

- 1ヶ月程度で診断を行い、報告をします。
- 診断結果をもとに、候補パッケージの例や進め方についてご提案します。



- ※1 - ビジネス概要（主なビジネスモデル、年商規模、拠点数、従業員数等）
 - プロジェクトの現状（システム更改対象範囲、体制、予算、スケジュール、方向性、課題等）

本診断サービスは、基幹システム刷新を検討中の中堅・大企業を想定しています。M&Aや事業拡大によりシステム統合のニーズを持つ企業、グローバル展開を加速する製造業・商社・小売業など、クラウドERP導入を視野に入れた「業務変革を前提とするシステム検討」の入り口でお困りの企業の、最初のワンステップをサポートします。



診断項目

1

組織の変革許容度

自社組織の変革許容度について、各キーマンの自己認識の範囲で診断を行います。

2

プロジェクトの難易度

これから推進しようとしている基幹刷新プロジェクトの難易度を簡易評価します。

3

各キーマンのプロジェクトへの想いや方向性の一致度

各キーマンの想いやありたい姿、課題認識、方針等について、一致度を確認します。

4

主要なビジネスモデルと業務パターン

ERPパッケージを選定する場合に、ポイントとなるビジネスや業務パターンの有無を認識します。

適応力診断後のロードマップ例

① アプローチ診断

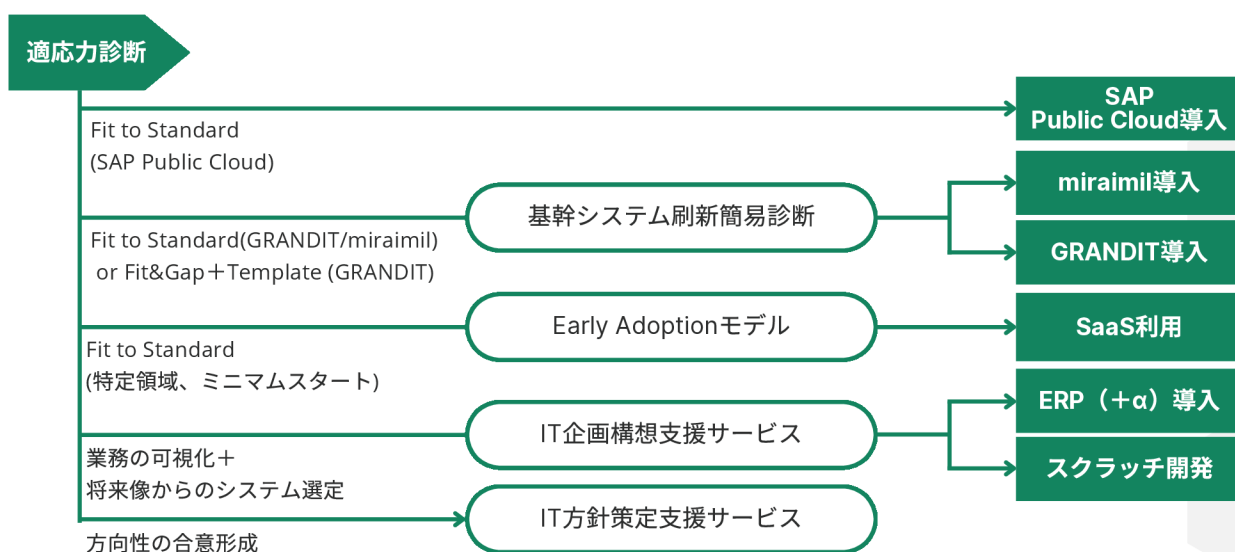
各ステークホルダー（経営層、事務局、ユーザーキーマン）の推進方針や考え方を確認し、Fit to Standardでプロジェクトを進める場合の課題の有無、組織にあった基幹システム刷新プロジェクトの進め方を確認します（組織変革許容度/Cloud Mindset評価）。

- ・ 方針・考え方（自社の強み/弱みの認識、最新IT技術との向き合い方、対象領域、予算感等）
- ・ 対応したい課題（効率化、標準化、人材不足、経営スピード、コスト削減、M&A等）

② パッケージ導入を検討する場合の候補ピックアップ

下記情報から候補となりうるERPパッケージをピックアップします。

- ・ 業界・業種
- ・ システム予算
- ・ 年商規模
- ・ 対象業務領域、ビジネスパターン、対応必須の業務パターン



※本サービスは、株式会社エル・ティー・エスと株式会社システムインテグレータとの協働サービスです。

本資料は、弊社のコンサルティングサービスの知見・実績に基づいて記載しておりますが、特定の企業・組織において常に適用できることを保証するものではありません。ご提供可能なサービスの詳細・費用等につきましては、お客様の状況、また市場動向に等に応じて、適切なご提案および契約をもとにご提供させていただきます。